

日本の高齢者の生活

イヴィー・イー

近年、日本の経済は発展し続けているが、日本の社会問題を徐々に出てき続ける。様々な社会問題の中で、日本社会の高齢化問題は最も目を引く問題の一つではないか。近年、晩婚化が進み、赤ん坊の数が減少しているため、日本の人口中で、高齢者の割合は急速に増加している。厚生労働白書によると、2017年まで、日本の65歳以上の高齢者は3515万人ほど多く、全体人口の28.4%であった。しかし、現在の状況で推計すると、2050年までに、日本の高齢者の割合が全体人口の35%程度になっていくようだ。言い換えると、2050年の日本で、3人に1人が高齢者だということである。こういう高齢化社会の状況は、私の地域活動をした時、よく観察した。私の地域活動は、武蔵野市の深田貴美子という議員と一緒に武蔵野市の改善のための活動だ。筆者が深田さんと一緒にしたコミュニティー活動のボランティアは、大部分は、若年層ではなく、高齢者の方だった。例えば、前参加した「こども食堂」と「元気市祭り」のボランティアは、若者より、65歳以上の方が多かった。この状況は、筆者の好奇心と興味を引いた。高齢者化社会は日本の特別な、顕著な社会問題だと思う。日本についての深く全面的な理解を得るため、高齢化者のことを習わなくてはならないと思う。

そこで、日本の高齢者の生活はどのような状況か、高齢者が遭遇した問題は何か、高齢者が利用する介護センターの状況はどうか、政府からの対応や支援は何かについて考察したい。本報告では、本、新聞やウェブサイトのほか、武蔵野市の2つの介護センターの管理者へのインタビューも参考にした。この報告では、まず、日本の高齢者の基本的なデータと日常生活の活動と高齢者の介護の状況に

ついて述べ、次に、高齢者の生活の問題と困難な点を分析し、最後に政府の高齢者への支援や問題の解決方法を明らかにする。

日本の高齢者の日常生活の中で、様々な活動に参加している。そのうちひとつは、就業だ。日本が高齢者社会へ徐々に発展すると、日本の労働力が不十分になり、政府の福祉支出が徐々に増加して行く事態はもう明らかにした。日本の政府のこの事態についての対策は、高齢者の就業を促進することだ。その結果、日本の高齢者の就業人口は増加し続けている。厚生労働省白書（平成30年）により、以下のことが確認された。まず、2017年65～69歳の454万人と70歳以上の367万人が働いていることである。この人口に占める労働力人口の割合が12.2%と上昇し続けている。次に、55歳以上の男性の就業者の割合は、60～64歳で79.1%、65～69歳で54.8%という状況である。女性の場合は、60～64歳で53.6%、65～69歳で34.4%という状況だ。これらのことから、日本の高齢者が60歳以上になっても、就業をし続ける人が多いということが考えられる。さらに、今回の調査により、男性の非正規の職員・従業員の比率が55～59歳で12.2%、60～64歳で52.3%、65～69歳で70.5%ということが明らかになった。このことから、年齢が高ければ高いほど、非正規の職員・従業員比率が上昇するというわけではないだろうか。高齢者が非正規の職員・従業員の比率が高いというのは、年齢が上がり、能力が低くなるからだと考えられる。

就業以外で、学習と社会活動は高齢者がよく参加する活動だそうだ。厚生労働省の調査によれば、「この1年くらいの中に生涯学習をしたことのある人は、60代でも70歳以上でも4割以上となっている」という状況が書かれている。高齢者が習う内容は、「趣味的なもの」が最も多いそうだ。「趣味的なもの」を勉強す

る高齢者は、60代の24.6%と70歳以上の24.9%だそうだ。二番目に人気があるのは60代の23.7%と70歳以上の20.3%が選択した「健康・スポーツ」だ。以上、本論では高齢者の学習の内容について、厚生労働省が、高齢者の好きな学習内容が自分の精神世界に良い「興味的なもの」と身体に良い「健康・スポーツ」ということが明らかにした。学習以外に、高齢者の日常生活の活動のもうひとつは、社会的な貢献活動である。厚生労働省の調査によれば、現在、何らかの社会的な貢献活動に参加している高齢者の割合は約3割だそうだ。参加している活動の種類についてみると、「自治会、町内会などの自治組織の活動」に参加する高齢者の割合が18.9%で、「趣味やスポーツを通じたボランティア・社会奉仕などの活動」に参加する高齢者の割合が11.0%だそうだ。これは、高齢者の年齢が高くなっても、社会の生活に参加したく、人間関係や新しい友達と交流する希望があることを表しているのではないかと思われる。筆者が地域活動のために吉祥寺の「元気市」という町の祭りに参加した時、この状況も確認した。「元気市」は吉祥寺を活気づけるための祭りで、若者より高齢者が多くいて、様々な活動を手伝ってあげた。例えば、アンコのスープや焼きそばを作っているボランティアと小学校で様々な社会貢献のための組織の組織者は、ほぼ全部高齢者だった。筆者は社会的な活動に参加する原因について、高齢者をインタビューした。最も人気のある理由は、新しい友達を作れてうれしくなるからだった。この答えは、調べた資料の内容を確認した。

これ以外、毎日介護センターに住んでいる高齢者やセンターに通う高齢者もいる。彼らの日常生活は、毎日ほぼ同じ活動をすることだ。例えば、筆者が調査しに行った二つの介護センターの管理者によると、高齢者のスケジュールは、毎日

朝ごはんを食べ、体操をし、昼ご飯を食べ、休憩し、色々な活動をし、晩御飯を食べることだ。活動の種類は、音楽を聴くことと手作りやゲームと友達との交流などがある。この二つの介護センターの一つは、医療検査のサービスもある。毎朝、介護者は高齢者の血圧などを測る。必要だったら、医者は来てくれた。ひとつの介護センターの管理者によると、そこの高齢者の平均年齢は80歳で、半分の高齢者が認知障害症を持っている。多くの高齢者が介護センターに住むことを決めたのは、認知障害症などの病気になり、家で適切な介護をもらいにくいからだと考えられる。

高齢者の生活は豊かなのに、問題も多くありそうだ。ひとつは、「孤独死」だ。Wikipediaは、「孤独死とは主に一人暮らしの人が誰にも看取られることなく、当人の住居内などで生活中的突発的な疾病などによって死亡することを指す」と定義している。近年、日本の高齢者が一人で暮らす傾向が顕著に上昇した。厚生労働省報告書で、「2015年には、65歳以上人口に占める割合は男性13.3%、女性21.1%となっている」と書いている。孤独死の原因の一つは、現在、多くの高齢者の子供が忙しくなり、両親の世話ができなくなり、両親が一人で暮らさなくてはならないからだ。筆者が地域活動で会った高齢者も、このような事態を教えた。一人で暮らす場合で、病気や突然事件があったら、助けてくれる人がないので、孤独死の可能性が高いと思われる。ニッセイ基礎研究所の調査によると、毎年3万人以上の孤独死事件があるが、実数は、この二倍や三倍以上の可能性があるそうだ。孤独死以外、様々な問題もある。一つは、振り込め詐欺だ。厚生労働省によると、2017年で、振り込め詐欺の被害者の77.9%は、60歳以上の高齢者だ。理由は、年齢が高くなると、認知力が低くなることだ。もう一つ

は、養護者による虐待問題だ。厚生労働省報告書は、「2016年度に全国の1,741市町村（特別区を含む）で受け付けた高齢者虐待に関する相談・通報件数は、養介護施設従事者等によるものが1,723件で前年度（1,640件）と比べて5.1%増加し、養護者によるものが27,940件で前年度（26,688件）と比べて4.7%増加した。」と述べた。それら高齢者の虐待事件中、身体的虐待が最も多く、67.9%の割合を占める。二番目に多いのは、心理的虐待（41.3%）だ。

高齢者の生活を改善するため、日本政府は様々な政策を制定した。例えば、認知症高齢者の生活環境の改善のため、政府は「高齢者に適した住宅への住み替えを促進した」と述べた。政府は、持続可能な介護保険制度の運営システムを進めている。さらに、介護サービスの質と介護職員の処遇を改良するための政策も制定した。

最後に、今後の課題について述べたい。今回の調査では、高齢者の日常活動ということや高齢者の生活の困難な点と問題についてわかったが、政府からの具体的な法案や政策については、まだ明らかにされていない。政府からの政策の効果が不明ということも高齢者の生活の改善にとって大きな問題であると思われる。したがって、さらに政府が高齢者に関する支援政策の効果などの調査をする必要があるだろう。また、今回の調査で使用した資料が少なかったため、高齢者の生活の問題の原因や問題と社会背景の関係についての考察も不十分である。今後、高齢者と社会環境の関係について、より多くの資料を集め、調査を続けていきたい。高齢者が社会の重要な部分なので、高齢者の生活を大切にしたいと思う。現在高齢者の生活の活動が豊かなのに、様々な問題がある。政府が制定し

た政策もあり良いと思うが、これらの政策の効果は、まだはっきりと分らない。時間が経つと、政策の効果はっきりするようになると思う。

【参考文献】

- ニッセイ基礎研究所 前田展弘「長寿時代の孤立予防に関する総合研究～孤立死3万人時代を迎えて～」<https://www.nli-research.co.jp/report/detail/id=42101?site=nli> (2019年10月28日アクセス)
- 内閣府「平成30年版高齢社会白書(全体版)」
<https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/index.html> (2019年10月30日アクセス)
- 「孤独死」<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%AD%A4%E7%8B%AC%E6%AD%BB>
(2019年10月28日アクセス)
- 国外稀罕事「在日本，为何老人“孤独死”成了普遍现象，为何不愿麻烦儿女」
<https://baijiahao.baidu.com/s?id=1595988390311040678&wfr=spider&for=pc> (2019年10月24日アクセス)